

『自閉症啓発デー in Hakodate 2021』 (4月2日)に吹奏楽局が参加しました！！

4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。世界中で皆が一緒に自閉症について知り、考える日です。函館でも毎年行われ、遺愛女子中学校ハンドベル部が参加したこともあります。

去年はコロナが拡大し始めた頃で、多くの催しが中止されました。しかし第8回目の今年は、新型コロナのなかでも、感染予防しながら様々な取り組みが行われました。

例えば、セルフイーサインという自閉症啓発の輪を拡げる運動に、函館、北斗、七飯、森、八雲、鹿部の市長・町長さんがとても素晴らしい笑顔で参加してくれたこと。また、元大関・琴奨菊さん、歌舞伎の大谷桂三さん、講談師の田辺鶴瑛さん、作家の谷村志穂さんらが輪を拡げてくれました。函館市芸術ホールではアート展やプログラミング・ドローン体験、LD/ADHDの心理的疑似体験プログラム、『お話聴きますカフェ』などが催されました。シネマアイリスでは自閉症関連映画『靴ひも』が上映されました。画廊一花、道の駅「なないろ・ななえ」、北陸銀行五稜郭支店、新函館北斗駅、蔦屋書店、中央図書館、中島れんばいふれいあセンター、港の庵、函館あうん堂ホール、ふらっと Daimon、16店舗の地域飲食店などでも様々な催しが行われました。

4月2日当日はオンライン配信で、道教育大の学生さんが2人MCで登場し、鹿部町、森町、八雲町からの中継、16時半から『ブルーの音楽祭』が放送され、18時半から五稜郭タワーがブルーにライトアップされました。

その際のファンファーレは市立函館高校の吹奏楽部の皆さんでした。18時35分過ぎから遺愛吹奏楽局『スプリングフェスタ』の演奏が始まりました。その演奏は現在も Youtube で見ることが出来ます。ネットで「**五稜郭タワー・ブルーライトアップ点灯式**」と入れ、スタートから2時間14分06秒後に遺愛の演奏が開始します。3日間で2000人以上の方が視聴して下さいました。「エールマーチ」「ジャズ風モーツァルトメドレー」、「米津玄師メドレー」、「鬼滅の刃メドレー」、「宝島」などが演奏されています。



2021年4月6日(火)